

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290100449		
法人名	社会福祉法人 敬仁会		
事業所名	グループホーム東出雲 Aユニット		
所在地	島根県松江市東出雲町意宇南2-5-5		
自己評価作成日	令和 6年 1月 5日	評価結果市町村受理日	令和6年3月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 2/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=32

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPOLまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	令和 6年 1月 25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「その人らしさ 想いを尊重し 共に支え合おう」という事業所理念を職員全員で作り出し、その理念に向かって日々入居者様と関わりが持てるように取り組んでいます。
開所当初と比較し、重度化が進んで来ているが、その方その方に合わせた自立支援を目指しています。また、職員の自己満足とならないように考えながら支援しています。感染症の蔓延に伴い、現在書面での開催となっていますが、勉強会等を事業所独自で開催し、スキル向上に努めています。
地域密着型サービスとして、以前は「いっなん祭」を開催していましたが、コロナ感染症が5類となった現在も、持病等本人様の都合でワクチン自体を接種出来ない方も入居されている為、実施が出来ない状況ですが、外出行事等探り探りではあるものの利用者様の楽しみとして少しずつ外部との関わりを持ちたいと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に基づき事業所は利用者を中心に職員も楽しみながら支援し、利用者が楽しく安心して暮らせるよう取り組んでいる。コロナ禍での研修や勉強会は法人・事業所内で実施され「身体拘束」「虐待」「不適切ケア」など定期的に行いケアの向上に努めている。利用者や家族は面会方法にまだ制限はあるがたよりや電話、手紙など担当職員は工夫し支援している。日常的に地域との関わりが持たにくい環境だが以前のような「いっなん祭り」開催や中学生・保育園との交流を今はできないが前向きに考えている。また、管理者は外国人スタッフ含め職員が働きやすい職場環境づくりに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「その人らしさ、思いを尊重し、ともに支え合おう」の事業所独自の理念をもとに、入居者様の思いを大切にしながら生活していただいています	理念について職員間で話し合ったり職場会議で振り返りの機会があることで共有し支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染症の蔓延防止を継続しており、以前のような祭り等は行っていないが、運営推進会議の開催や新聞会社に古新聞をいただき、レク等で活用させていただいています	地域との交流は現在もできないが、引き続き近くの新聞販売店から古新聞をいただき利用者は手作業やレクリエーションに使用している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	感染症蔓延防止に伴い、上記同様地域貢献を実施出来ていません		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症蔓延防止に伴い書面会議としていましたが、昨年より会議を再開させていただき、家族様や包括支援センターの職員様に参加していただき話し合いの機会もっています。	書面会議から昨年より直接開催となり事業所の現状や活動を報告している。家族や関係者の参加で意見をいただいている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市内の各居宅ケアマネージャーからの問い合わせや、包括支援センターとの関わり、入居申し込み等随時必要な情報のやり取りを行っています	運営推進会議に包括支援センターから参加している。日頃から情報を伝えて意見交換、相談をし再開された地域の「やらこい会議東出雲」でも情報共有している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に勉強会を行い身体拘束についての理解を深め、身体拘束廃止に向けた取り組みを継続して行っています	勉強会で言葉づかいや対応の理解を深め、職員間で共有し話しあい身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を開催し、理解を深めています。職員個々が日々の業務の中で虐待を行う事が無いよう義務付けとしての取り組みを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内で研修を行い理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明書や、契約書を使用して説明しています。また内容改定時には家族様に文書にて報告を行い、理解・納得していただいています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	目安箱を設置し、意見や要望等直接話しにくいことも受け付けています。家族様からの意見などがあった場合は都度現場で話し合いを行い、希望に添えるよう対応している	運営推進会議への参加やたよりで利用者の様子を知らせ、面会時や電話で意見や要望を聞き出した意見などは対応をしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務の中で都度意見や提案、相談等を聴く機会(申し送り)持ち、業務改善や日々変化する入居者様の対応について話し合いを行っています。	管理者は現場に入り日頃から意見を聞く機会に努め運営に反映させている。職員は共有ノートに意見や気づきを記入することもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員に居室担当、行事担当、委員会等それぞれに受け持ちを持つことで、責任感の向上・知識の向上を図っています。また職員が家庭との両立できるよう月ごとに勤務の希望を取っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、事業所内で定期的に研修を実施し、法人の理念「みんなの笑顔と元気のために」を指針として、その実現に向けて取り組みを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内に事業所がいくつかあり、委員会や研修会等へ参加す際に他の事業所との交流を行う機会があり、サービス向上に向けての話し合いを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際、本人様の思いに寄り添い、困っている事や要望・不安ごとなどを傾聴し、その内容を職員間で共有し、安心した生活が提供できるよう取り組んでいます		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に本人様にどのように生活を送っていただきたいか希望をうかがい、プランにも反映してサービスを提供しています。また2か月に1回写真と共に近況を家族様に報告しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面接等で本人様が今までされてきたこと、施設に入居後も続けて行えるかの見極めを行い、入居後もスムーズに生活を継続出来るように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人一人の出来ることの見極めを行い、家事(洗濯物、調理、掃除)等の活動に参加していただき、本人様の生きがい、やりがいとなる様な支援に努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	2か月に一回近況報告を行い本人様の様子を伝えさせていただいており、日々困りごとがある際は、家族様と電話で直接お話していただくなど、感染症の蔓延を注意しつつ家族様にも支援に関わっていただいています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様以外の親戚や知人からの連絡を頂く事があり、電話や手紙をいただく事もあり、本人様とのなじみの関係を大切にした支援に取り組んでいます	電話や手紙で家族や馴染みの人との関係が途切れないよう支援している。毎週定期で利用者が好む差し入れをする家族もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホール内での席の位置等、日々の変化や関係性を考慮しつつ柔軟な対応を心掛けています。また、洗濯物をたたんでいただく等の作業時は職員が間に入りお手伝いの声掛けを行い協力して出来るよう取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後であっても、相談等あれば対応させていただき旨を説明させていただいています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別ケアを実践していくために、普段の会話等から思いや要望を把握するよう努めています。また意思の疎通が困難な方に対しては、家族様と話し合い相談を行い本人本位の支援となるよう取り組んでいます	普段の会話の中から今の気持ちはどうだろうか、このことは喜ばれるだろうか等々表情や言動から思いを汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本的な情報については、初期面接や契約時の家族様との面談時に把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録を時系列で細かく記載するよう努めており、本人様の変化や新しく知りえた情報などについて、ユニットごとの連絡ノートを用いて職員間で共有出来る様にしています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様の要望、意見については来所時に確認することでプランへの反映を実施しています。ユニットの職員でもカンファレンスを実施し、本人様の状況に即したプランになるように努めています。状態の変化がある際は都度変更しながら支援しています	担当者を中心に家族の要望や意見を確認し計画を作成している。状況の変化がある時は関係者と話し合い現状に即した介護計画を立て支援している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にプラン内容を記載しており、プランに即したケアが行えるよう努めています。連携した内容を記載するようにはモニタリング時も活用できるようにしていますが記録内容についてはまだ不十分な部分があります		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のニーズに合わせたサービス提供が出来るよう心掛けています。職員間での話し合い等を日々の業務で行いながらニーズの実現に向けて取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の新聞社と連携し、レクリエーション用品(古新聞)を提供していただいている。また屋外を散歩する際、自然や季節を感じながら楽しく散歩していただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、家族様が希望されるかかりつけ医を選択していただき、往診、受診対応をしています。変化があった際は家族様と相談を行い、必要な医療が受けられるよう支援しています	利用者、家族の希望でかかりつけ医の受診や訪問診療を受け対応している。体調変化時は家族に連絡し適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に体調の変化や気づきがあった際は訪問看護の看護師に相談し、適切な支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が必要になった場合は、看護・介護サマリー等を作成し、医療機関との連携を図っています入院中も定期的に医療機関、家族様と連携し、継続した支援が出来るよう対応しています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期に向けての取り組みについて、入居時に説明・同意をもらうようにしています。また実際に対応が必要になった場合も再度説明、同意をいただいております。医療機関との連携が滞りなく行えるよう連絡調整を行っています	入居時に重度化、終末期に向けて事業所方針を説明し同意を得ている。看取り時には家族・医療関係者と情報共有し事業所でできることを共に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に法人内の研修を行い、知識としての情報が得られるように対応しています。緊急時のマニュアルも緊急時使用できるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施しており、避難方法について定期的に確認出来ている。また、水害についても勉強会を行い、有事の際の対応方法について定期的に学びを得ている。地域との協力体制については現状困難な状況である	定期的に消防訓練の実施や実施後の振り返りを行い情報は共有している。備蓄の準備、利用者の避難方法など勉強会を行い対応を学んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人内研修にて不適切ケアについての研修を定期的に行っており、お互いに注意し合える環境づくりや、定期的な意識づけを行っています	特に入浴や排泄のケア時には言葉かけや対応に注意している。定期的な研修で意見を出し合い学びケアに活かしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の状況に合わせ、入浴時間の変更や食事時間等の対応をしているが、重度化により場面によっては職員都合になっている部分もあります。その中でも個々の洗濯を大切にするように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の都合に合わせサービスの提供時間を柔軟に変更しながら支援するよう取り組んでいますが、現状難しい部分もあります。可能な限り希望に沿った支援となるよう職員間で話し合いを行いながら取り組んでいます		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	モーニングケアの声掛け、を行っています。自主性を大切にしていますが、髭剃り等本人様で難しい所は介助にて身だしなみを整えています。おしゃれについては家族様の希望も合わせて髪染め(美容院)もしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	重度化に伴い実施できる方は減少しましたが、本人様の能力を活かして下膳等のお手伝いをしていただいています。自主的に皿洗いをされる姿も見られています	手作りの食事を提供している。一緒に準備や調理は難しいが下膳や皿洗いなど片付けをする人もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日を通しての摂取量が把握できるよう記録に残しています。食事量の管理が必要で摂取量が少ない時は補助食品も活用し栄養管理を行っています。水分管理については現在おられないが、確認票を作成しており対応可能です		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛け等の支援を行っています。地域の歯科医とも連携を図っており、家族様と相談し必要に応じて往診してもらい、義歯の調整等行っていただいています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	可能な限りトイレでの排泄が続けられるよう支援しており、オムツ対応の方については尿量や排泄のタイミングを把握し、声掛けやパット交換等の選定をしています	排泄パターンやサインを把握し、タイミングを見ながら見守りや声掛けを行いトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事において、野菜を多めに提供したり、ヨーグルト等を利用して便秘予防も行っています。チェック表をもとに排便状況を把握し下剤等を活用しながら支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的に2回/週。可能であれば3回/週の入浴ができるよう予定を組んで実施しています。入浴時間について、声掛け時に拒否が見られる際は時間を変えてお誘いするなど、個々に合わせて入浴支援をしています	利用者の希望に合わせた入浴時間やその日の状況で変更したり柔軟に対応している。好みの湯加減やプライバシーに配慮した支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居まで生活習慣・睡眠ペースに合わせ、寝具の選択(畳対応等)や入眠時間等柔軟に対応しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに薬情報をファイルしており、いつでも確認できる対応をしています。症状の変化等が見られた際は受診を行い、薬の変更や追加処方等の対応をしてもらっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様のできること、したい事の把握に努め、役割として行えること(洗濯物たたみ、新聞たたみ等)を声掛け等で行っており、本人様の自主性を大切にしながら支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	気候が穏やかな日は畑仕事や周辺散歩、ドライブ等本人様の希望や行事計画に沿って外出の支援を行っています。買い物については感染症蔓延防止に伴い現在は行っていません。また車内も密にならないよう注意しています	行事計画に沿ったドライブや家族との外出など戸外に出かけられるよう支援に努めている。「外を散歩したいわ」の声に職員と周囲を散歩することもある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に金銭管理は事業所で行っていますが、本人様が希望される場合は、家族様に相談のもとご本人様に財布を持っていただいた事も以前にはありました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個別的に家族様希望により本人様の携帯電話を使用して定期的に連絡してもらいたい、との希望に対応しています。また手紙も届く事もあり、本人様にお渡ししていますが現在返信希望の方はいらっしゃいませんが対応は可能です		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度計を活用し、湿度や温度の管理を行っています。昼間は日の光が入るように配慮したり、折り紙やカレンダーを作成し、季節感を感じていただけるような飾りつけもしています。	温度や湿度管理を行い、日の光が入るように配慮している。ホールや廊下には季節ごとの手作り作品や行事の写真や温かみのある心地よい共用空間にしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にソファ、パーテーション、テレビ等を設置し、本人様が過ごしたい所でくつろげるよう声掛け等の支援を行っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自身が使用されていた馴染みの家具など、持ち込みが可能な事を契約時に説明しており、実際に使用されている方もいらっしゃいます。また、基本はベットを準備していますが、希望の方にはたみでの対応も可能です	本人、家族と相談し家具や馴染みのある持ち物を置き心地よく住み慣れた居室になるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る限り自立した生活が送っていただけるよう、福祉用具等も活用しながら支援しています。転倒リスクが高くなっている方についてはセンサーマットや鈴を使用して、早期に発見・対応出来るよう対応しています。		